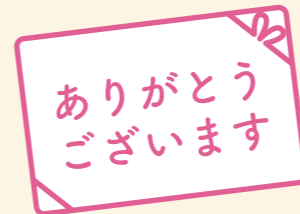


特集

## “社協”って 何をしているの？ -地域福祉の仕事紹介-



五木ひろしふるさとマラソンチャリティバザー収益金で寄贈いただいた新しい福祉車両と、ご利用者第一号の岡本さんご夫婦。



《令和5年 10/1～12/31》

社会福祉事業基金

心よりお悔み申し上げます

- ・中島敏彦さん(興道寺)より、故なつ代さんのご遺志 100,000円

篤志寄付

- ・三好嘉夫さん(郷市)より、10,000円
- ・とく名さんより、100,000円

使用済み切手

- ・美浜町教育総務課さん
- ・(有)横山電気工事さん
- ・和田区さん
- ・(有)若狭プラントサービスさん(河原市)
- ・岡本和行さん(河原市)
- ・JA福井みはま支店さん
- ・中島浩さん(竹波)
- ・美浜町健康福祉課さん
- ・(株)美浜商事さん(佐柿)
- ・(株)レインボーラインさん
- ・NUCLEAR TECHNOLOGYさん(金山)

- ・MTCさん
- ・(株)カモコンさん
- ・片板慶子さん(郷市)
- ・レインボー観光自動車(株)さん(若狭町)
- ・美浜町歴史文化館さん
- ・美浜町子ども子育てサポートセンターさん
- ・とく名さん

書き損じはがき

- ・NUCLEAR TECHNOLOGYさん(金山)

ベルマーク

- ・片板慶子さん(郷市)
- ・とく名のみなさん

その他  
各種サービスにいただきました

- ・馬野福太郎さん(野口)より、介護用品
- ・池田義治さん(麻生)より、米
- ・日向ときめきクラブさんより、日用品
- ・石丸幸枝さん(山上)より、雑貨
- ・小嶋善明さん(松原)より、介護用品
- ・津原久子さん(小倉)より、介護用品、家電
- ・塚原千恵子さん(興道寺)より、野菜
- ・とく名のみなさんより、米、果物

「デイサービスセンターほほえみ」にいただきました

- ・美浜町シルバー人材センターさんより、介護用品

「でんでんむしの家」にいただきました

- ・八木賢さん(郷市)より、野菜
- ・山口奈穂子さん(大藪)より、日用品、飲料

- ・坂田栄子さん(郷市)より、雑貨
- ・とく名のみなさんより、野菜、果物、日用品、食品、正月用品

「弥右エ門さん家」にいただきました

- ・石丸甚蔵さん(山上)より、果物
- ・とく名のみなさんより、野菜、果物、食品、雑貨

「吉右エ門さん家」にいただきました

- ・高木和男さん(新庄)より、野菜
- ・関口松子さん(佐柿)より、野菜
- ・小池淳さん(佐柿)より、娯楽用品
- ・松田秀夫さん(久保)より、食品
- ・山本康雄さん(佐柿)より、果物
- ・南 幸さん(佐柿)より、果物
- ・とく名のみなさんより、果物

賛助会費にご協力いただき、ありがとうございます。

- ・興道寺区 田村央泰さん (R5年7月19日受付)
- ・けやき台区 西みのるさん (R5年12月22日受付)

※氏名、名称、金額、品名などについて、了解を得た方のみ掲載させていただきます。

### 能登半島地震災害義援金の受付について

美浜町共同募金委員会では、能登半島地震災害義援金を受け付けております。皆様のご協力を、どうぞよろしくお願ひ致します。詳細は、美浜町社協までお問合せください。

【受付場所】

- ・保健福祉センターはあとびあ
- ・デイサービスセンターほほえみ
- ・でんでんむしの家
- ・吉右エ門さん家
- ・弥右エ門さん家

発行：社会福祉法人

## 美浜町社会福祉協議会

(美浜町保健福祉センター「はあとびあ」内)

〒919-1141 美浜町郷市25-20  
TEL (0770) 32-1164 FAX (0770) 32-5915  
E-mail shakyo1164@kl.mmnet-ai.ne.jp  
http://www.mihamachoshakyo.com

福井県 美浜町社協 検索



美浜町社協  
ホームページ

# “社協”って何をしているの？

## - 地域福祉の仕事紹介 -

### 「社協」って何？

社会福祉協議会(以下、社協)は、地域住民のみならずや民生児童委員、福祉委員などの福祉関係者、保健・医療・教育などの関係機関の参加と協力のもと、誰もが安心して地域で暮らせるよう支援をしていく民間団体です。社会福祉法においても、「地域福祉の推進を図ることを目的とする団体」として位置づけられており、全国すべての市町村・都道府県・指定都市に設置されています。

美浜町社協においても、集落における身近な支え合いの地域づくりやボランティア活動、また生活困窮者支援など、地域福祉に関する様々な事業を実施しています。今回は、そんな美浜町社協の「みんなで育むほっとかないまちづくり」に関する取り組みをご紹介します。

### 美浜町社協について

美浜町社協には、次の3つの部署があります。

1. 法人運営管理部
2. 地域福祉支援部
3. 在宅福祉サービス部

### 誰かの“生きづらさ”に寄り添えるしくみづくり

地域における住民同士のつながりづくり、また福祉関係機関の連携など、あらゆる場での横断的な関わりが、誰かの“生きづらさ”をほぐす力になります。

### 不登校児等への支援

町は、平成31年4月に、町内小中学校の不登校児童生徒や保護者等に対して、きめ細かな支援を行うため、美浜町教育支援センター「なないろ」を開設しました。



調理実習の様子

支援を実施する体制づくりを行っています。

### 町の健康福祉課に職員を派遣

美浜町社協から2名の職員を派遣しています。社協の強みである「地域のみなさんとのつながり」「支え合いの地域づくりのノウハウ」、それらをより幅広く活かせるよう取り組んでいます。

### 福祉委員会の活動を応援！

町内31集落で設置されている福祉委員会活動を支援(定例会議への参加や、ふれあいサロン開催の支援、気配りな世帯への訪問に同行するなど)しています。集落活動の主体はあくまでも住民の皆さんですが、私たちは福祉の専門職の立場で、そのバックアップをしていきたいと思っています。



南市区サロンの様子

その中でも地域福祉の推進を行うのは主に「地域福祉支援部」ですが、介護保険事業や障害者総合支援法に基づく在宅福祉のサービスを行う「在宅福祉サービス部」の職員も、集落の福祉委員会活動の支援を行っています(後述)。

美浜町社協では、社会福祉法に明記されている、社会福祉法人の「地域における公益的な取組の責務」のもとで、職員が部署の垣根を越えて、地域のニーズに取り組む姿勢を大切にしています。



社協では、福祉の町づくりを推進するうえで、様々な立場の方との話し合いの場を大切にしています。(第5次地域福祉活動計画第1回策定委員会の様子)

### 金銭的困窮、そして“つながり”の困窮に向き合う

「働きたくても働けず、収入がない」といった金銭的な困窮に加え、親しい人がいない、居場所がないなど、社会的に孤立し排除されがちな方々に向き合い支援を行っています。

### “地域福祉”とは？

地域福祉の推進とは、それぞれの地域であらゆる人たちが安心して暮らせるよう努めることを指します。そしてそのために、社会福祉法第4条では、福祉に関する事業所や行政と地域住民のみなさんが協力していかなければならないことが明記されています。一人ひとりの生活課題に対し地域が“自分事”として向き合えるように、そしてそのサポートができるように、美浜町社協として努めていきたいと思っています。

次ページからは、美浜町社協の地域福祉事業を、次の5つに分けてご紹介します。

1. 誰かの「生きづらさ」に寄り添える仕組みづくり
2. 金銭的困窮、そして「つながり」の困窮に向き合う
3. 誰かの「幸せ」を尊重し、「認め合うこと」の学び
4. 誰かの「ニーズ」から、みんなに役立つ「資源」を創る
5. 「まさか」に備える、そして助け合うための取り組み

### 日常生活自立支援事業

認知症や障がい等が理由で、金銭の管理や福祉サービスの利用手続きなどが難しい方が、地域で自立した生活ができるようお手伝いしています。

各事業の実施だけではなく、生きづらさを抱える方々に寄り添い、そしてつながり続ける「伴走型支援」を大切にしています。



訪問支援の様子

### 社協の思い Note

“自立”とは、「他人に頼らずに生きること」だと思われがちです。しかし私たちは、孤立感を抱える方々にとっての自立を、「困ったときに、助けてくれる人の力を借りて、自分らしい生活が送れること」だと考えています。

生活困窮者支援とは「誰もが自分が暮らす身近な場所に、“自立”を支えてくれる人がいる」、そんな誰もが住みやすい地域を町民のみなさんと育んでいくことだと思っています。

### 生活福祉資金貸付事業

低所得者等を対象に、貸付を行う制度です。経済的な支援と併せて、借り受けた世帯の相談支援を、民生児童委員が行います。

## “まさか”に備える、 そして 助け合うための取り組み

連携、そして協力は、一人では難しいことでも叶えられる力になります。災害時対応や空き家関係の取り組みなど、ひとつのチームとして課題解決にあたる体制を構築しています。

## 「ご寄付のネットワーク で生活困難者を支援

町内のたくさんの方からお預かりしたお野菜や食品、そしてファミマフードドライブでお預かりした食品等を、必要な方々にお届けしています。



ファミマフードドライブで食品を受け取る職員

## 誰かの“幸せ”を尊重し、 “認め合うこと”の学び

美浜町社協では、町内各校と協力して福祉学習を実施しています。福祉への学びは、「誰かの幸せを大切にすること」に対する学びだと考えています。

## 社協の思い Note

従来の福祉学習は「思いやり」や「手助け」がキーワードでした。しかし近年は、それらに先立って「幸せ」がキーワードになっています。誰かの困りごとだけに目を向けるのではなく、何を喜びとしているのかに着目することで、相手をより理解できるという考え方です。

今後は、校内の授業に留まらず、校外に出て地域の方と子どもたちが交流し、子どもも大人も福祉について学び合える機会を創出していきたいと思っています。



職員が教壇に立つこともあります



障がいのある方を招いた授業の様子

## 「福祉」の学びを お手伝い！

町内各小学校を対象に、毎年1学期、2学期にかけて福祉学習を実施しています。担当教員との打ち合わせを密に行い、学習内容の企画や提案、またテーマに応じて当事者の方々の授業にお招きするなど、コーディネートを行っています。

## 災害時に職員を派遣

県内社協の相互支援協定により、災害ボランティアセンターの運営支援等を行っています。また、福井県災害派遣福祉チーム(DWAT)に参加し、県内県外からの要請に応じて、職員を派遣しています。



南越前町での災害ボランティアの様子  
(R4年8月)

## 空き家への移住者を お手伝い！

NPO法人ふるさと福井サポートセンターを通じて、町内の空き家へ移住する方の生活環境づくり・つながりづくりをお手伝いしています。



空き家のお片付けの様子

## 誰かの“ニーズ”から、 みんなに役立つ “資源”を創る

ニーズとは「需要」、そして社会資源とは「住みやすい地域づくりに役立つあらゆるもの」を指します。美浜町社協では、町民のニーズに基づいた社会資源の創出に努めています。

## ボランティア喫茶 はあとステーション

ボランティア活動の場として、また新たなつながりを求める方への場としてスタートしました。子どもの遊び場としてホールも開放しています。



はあとステーションの様子

## 美浜町社協を、もっと知っていただくために

美浜町社協では、社協だよりの発行をはじめ、各種SNSを活用した情報の発信に努めています。また、町内の様々なイベントに参加し、チャリティーバザーを実施しています。それぞれの取り組みが、町民のみなさんに、社協をより身近に感じていただくきっかけとなり、延いては生活課題を相談しやすい関係性の構築、また町民のみなさんが求めている福祉的なニーズを把握することにつながると考えているからです。地域福祉の主役はあくまでも住民のみなさんですが、今回の特集を通じて、地域のみなさんの福祉活動をサポートさせていただく存在として、美浜町社協を知っていただけたら幸いです。



## おはなし会

大切な方を亡くした方の「この思いを共有したい」との声で生まれた場です。「同じ経験をした人同士だからこそ話せる」との感想が聞かれています。



「ここから話せる」という声も聞かれています

## おでかけワゴン

高齢者の外出に対するニーズからスタートした事業です。ボランティアさんの活動の場にもなっています。



お買い物等に利用いただいています



YouTube「あなたにスポット」の撮影



チャリティーバザーの様子

## 福井県社会福祉協議会 会長表彰

11月11日(土)、第70回福井県社会福祉大会において、長年、地域福祉活動にご尽力をされた方々に対する、福井県社会福祉協議会会長表彰の表彰式が行われました。

### 【表彰を受けた方々】

#### 福祉活動功労表彰 知場富雄様

平成24年から福祉委員を務められています。毎月開催のふれあいサロンや、集落における丁寧な見守り活動など、地域福祉活動に尽力されています。

#### ボランティア優良活動表彰 山本美智子様

平成24年から福祉教育の一環として、町内の小学生を対象に、自身の障がい者としての体験を伝えておられます。



(写真左から)乙見社協会長、山本さん、知場さん

## 大切な人を亡くされた方へ “おはなし会”のお知らせ

身近なご家族や親しい方を亡くされた方同士で、気軽にお茶をのみながら、今抱えている思いを話していただける場として、「おはなし会」を開催します。

【日時】令和6年3月13日(水)13:30~15:00

【場所】保健福祉センターはあとぴあ

【参加費】無料

【コーディネーター】

日本グリーンケア協会認定特級アドバイザー  
山崎純子さん

参加希望の方は、前日までに  
美浜町社協(32-1164)へご連絡ください。



## ご寄付をいただきました

### 株式会社 NUCLEAR TECHNOLOGY様 から、

社会福祉事業に対し、120,000円をご寄付いただきました。また、職員の皆様が歳末たすけあい募金にご協力くださいました。ありがとうございました。



(写真左から)代表取締役 佐倉俊哉さん、乙見社協会長

### マハナ テーブル Mahana Table様、エステティック サロンMARU様、ぼうちゃん食堂様

より、Mahana秋祭りの収益の一部として、デイサービスセンターほほえみに食器乾燥機と収納ラック、また、(株)TIATURI様より、地域福祉活動へ車椅子をご寄付いただきました。それぞれ、利用者の皆様、町民の皆様に喜んでいただけるように大切に使用させていただきます。ありがとうございました。



(写真左から)株TIATURIマネージャー 小幡睦月さん、代表取締役 角森希望さん、デイサービスセンターほほえみ 田邊管理者

## 歳末たすけあい募金へのご協力、 ありがとうございます！

12月から展開している歳末たすけあい募金に、町民の皆様から多くのご協力を賜りまして、誠にありがとうございます。企業・団体の皆様からもご協力をいただきましたので、お名前をご紹介させていただきます(令和5年度の赤い羽根共同募金、歳末たすけあい募金の実績報告は、次号に掲載いたします)。ありがとうございます。

### ご協力いただいた企業・店舗様

- ※美浜町共同募金委員会が直接お預かりした企業・店舗のみを掲載しています。
- ※敬称略、順不同
- 愛美産業(株)
- (株)カモコン
- 関電プラント(株)原子力事業本部
- 関西電子ビーム(株)
- 清水工業(株)美浜営業所
- 敦賀信用金庫美浜支店職員一同
- 橋本佳和税理士事務所
- (株)福井銀行美浜支店
- 美浜発電所安全衛生協議会
- (株)美浜商事
- (有)美和木工
- レインボー観光自動車(株)
- (株)ニュークリアテクノロジー職員一同
- 味くらべ

## 令和5年度 福祉のまちづくり集会 のお知らせ

美浜町社協では毎年、町民の皆さまに「福祉」をより身近なものに感じていただく機会として、「福祉のまちづくり集会」を開催しています。今年度は法人化45周年の記念式典と合わせて、令和6年度からの5ヵ年を計画期間とする「第5次地域福祉活動計画」についてのお話もさせていただきます。ぜひお気軽にご参加ください。

【開催日時】令和6年2月17日(土)  
14:00~16:00

【場所】保健福祉センターはあとぴあ  
はあとホール

### 【内容】

- ・美浜町社協法人化45周年記念式典
- ・感謝状贈呈
- ・第5次地域福祉活動計画概要説明
- ・記念講演会(詳細は左記)

### 【タイトル】

「ほっとかない」まちづくりの  
ために私たちができること

## 第5次地域福祉活動 計画の策定について

地域福祉活動計画は、地域における生活課題を把握し、それに対してできることを地域住民のみなさんと一緒に考え、具体的に活動していくための計画です。多くの方にご協力いただいたアンケートの結果を基にして、計画策定に向けて進行中です。福祉のまちづくり集会にて、ご来場の皆様に概要を説明させていただきます。



12月25日に第2回策定委員会が行われ、本計画が町民のみなさんが抱える様々な生活課題に資するものとなるよう、委員間で積極的な意見交換が行われました。



【講師】湯浅 誠さん

社会活動家、東京大学先端科学技術研究センター 特任教授、経済同友会会員、こども家庭庁「こども家庭審議会 こどもの居場所部会」委員。認定NPO法人全国こども食堂支援センター・むすびえ理事長。

孤独感や孤立感は、誰しも様々なきっかけで抱え得るものです。長年格差や貧困といった大きな社会問題と向き合ってきた湯浅さんのお話を通して、自分を含めたあらゆる人が住みやすい地域づくりについて考えてみませんか。